名古屋モーターショー
国内外42ブランドが集結

中部経済新聞社

中部地区最大規模の自動車イベント「第21回名古屋モーターショー」が昨年11月21日から24日まで、名古屋市港区のポートメッセなごやで開催された。主催は中部経済新聞社、東海ラジオ放送、中日新聞社、中日スポーツ、東海テレビ放送。

名古屋モーターショーは、東京モーターショーに続く自動車イベントとして2年ごとに行われている。

2・3号館では、「第46回東京モーターショー」に出展された参考出品車（コンセプトカー）、最新市販車等、国内外二輪、四輪メーカーの計42ブランドが集結。安全運転システムや自動運転技術などが披露され、18万3250人が来場した。

また1号館特設会場には「ラッピングカーコーナー」を設置。塗装ではなく、フィルムでドレスアップしたスーパーカーや軽自動車など多数展示した。さらに日本初となるラッピングコンテスト「ワールド・ラップ・マスターズ・ジャパン（WWMJ）2019」【別掲】が実施されたほか、子供から大人までラッピング体験ができるブースが設けられるなど連日盛況だった。

子供から大人までラッピングを体験できるブースが盛況だった

JCWA

ラッピングコンテスト開催
優勝は川上裕貴氏（ヤマックス）

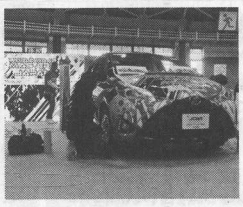
（一社）日本カーラッピング協会（JCWA、苅谷伊会長）は昨年11月22日から24日まで、ラッピングコンテスト「ワールド・ラップ・マスターズ・ジャパン（WWMJ）2019」を名古屋モーターショー内のカーラッピングコーナーで実施した。

WWMJは、世界で行われているカーラッピング競技を名古屋モーターショー内で開催し、カーラッピングに関する若手の育成とともに、技術力向上を主眼にしたコンテスト。

審査は世界大会と同一の基準で実施し、苅谷会長やJCWA役員のほか、特別審査員として2016年の世界王者である米国のジム・ミラー氏も参加した。競技課題は当日に発表された。

初日は開会式・競技説明後、「ラウンド1」として全22選手がフロントドア（30分間、ドアノブあり）、クリエイティブラッピング（1時間、課題はヘルメット）に参加、ここで16人に絞られた。

2日目は「ラウンド2」と題し、フロントフェンダー、フロントドア（40分、ドアノブあり）の競技で12人に、午後の「ラウンド3」のクリエイティブラッピング（1時間、課題は高さ60㌢のコカ・コーラボトルの貯金箱）で8人となった。



2日目のラッピング競技㈰、優勝した川上氏

最終日の午前は「セミファイナル」で、フロントフェンダー、フロントリアドア（1時間、ドアノブあり）、クリエイティブラッピング（15分間、課題はバイキング盾のミニチュア）により、ファイナルに進出できる4人が決まった。

そして、午後の「ファイナル」はフロントリアフェンダー、フロントリアドア、A～Cピラー（1時間半、ドアノブあり）が行われ、厳正な審査の結果、川上裕貴氏（神奈川、ヤマックス㈱）が優勝。今年3月にスペインのマドリードで開催される「FESPA 2020 ワールド・ラッピング・マスターズ」への出場権利と、協賛社からの商品が副賞で贈られた。

このほかの上位入賞選手は準優勝が竹中聖人氏（東京、㈱東名）、3位はチャーリー・テュルージロ氏（米国、LEWraps／LETTERING Expres）、4位は峯晃之氏（大阪、デコラティブシステム㈱）だった。

苅谷会長は、日本初開催となるWWMJを終え、「協会の発足当時からの夢だったラッピングコンテストを日本で開催でき、参加者、スポンサー企業、協力頂いた関係者に感謝申し上げる。今回、入賞できず、悔しい思いをした人も多いが、この思いは必ず仕事の糧になる。また、良い成績を残した方はこれに甘えず、世界各地にはもっと上がいることを知り、高い頂きを目指し、日々精進して欲しい。当協会は次回のWWMJを企画しているので、ぜひ多くの方々の参加をお待ちしている」と話す。

WWMJの競技に使用したメディアは次の通り。

▽ラッピング用インクジェットメディア／リンテックサインシステム＝PET-204RW（ER2）、テクノプロモーション＝HEXIS THE190EVO

▽ラッピング用カラーフィルム／テクノプロモーション＝HX20000シリーズ、リンテックサインシステム＝ヴェラプスシリーズ、オラフォルジャパン＝970シリーズ、エイブリィ・デニソン・ジャパン・マテリアルズ＝シュプリームラッピングフィルムシリーズ

◇

また、JCWAは昨年11月23日午後7時から、「第4回日本カーラッピング協会懇親会」を名古屋港のセントグレース大聖堂＆ゲストハウスで開催、全国各地から約70人が参集した。

懇親会は鈴木敦理事の司会で進行。冒頭、苅谷会長は「明日、この中の誰かが、ワールド・ラップ・マスターズ・ジャパンの日本代表に選ばれる。代表になる方は、悔しい思いをした人たちの思いを受け止めたうえで、自信と責務をもって頑張って頂きたい」と挨拶＝写真。その後、参加者の紹介・挨拶が行われ、和やかな歓談の中、9時に閉会した。